

# 景況レポート

(4月分・情報連絡員60名)

## 新型コロナウイルス感染症の影響により景況DI値は更に悪化

### 【概況(全体)】

4月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが3.3%(前回調査3.8%)、「悪化」が80.0%(同71.3%)で、業界全体のDI値は-76.7となり、前月調査と比較し9.2ポイント下回った。

全国及び東北・北海道ブロックともに景況DI値は先月より悪化した。本県DI値の下げ幅が大きく、全国及び東北・北海道ブロックを2ヶ月連続して下回る結果となった。

### 【業界別の状況】

新型コロナウイルス感染症の影響により製造業、非製造業ともに各業種で悪化割合が大幅に増加したことで、景況DI値は前月調査を大幅に下回ることとなった。

ほとんどの業種のDI値がマイナスとなり、新型コロナウイルス感染症の影響の深刻さが窺える。

緊急事態宣言による経済停滞の影響から主要3指標に加えて、資金繰りも落ち込んでおり、業種を問わず、先行きを不安視している声も多く、今後さらなる落ち込みを懸念する声も多い。

### <全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全国	東北・北海道
全体	-76.7	-72.9	-69.9
製造業	-83.3	-74.6	-71.6
非製造業	-72.2	-71.8	-68.9

### <景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業							
非製造業							

### 【凡例】



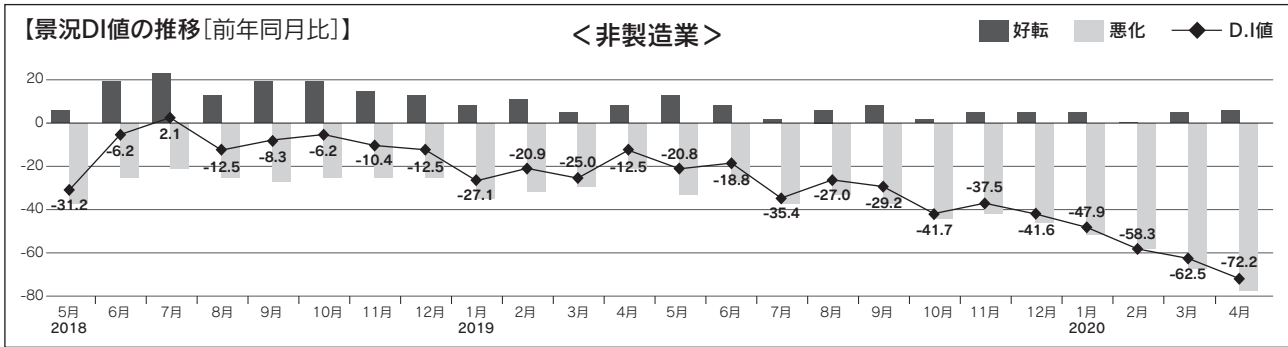
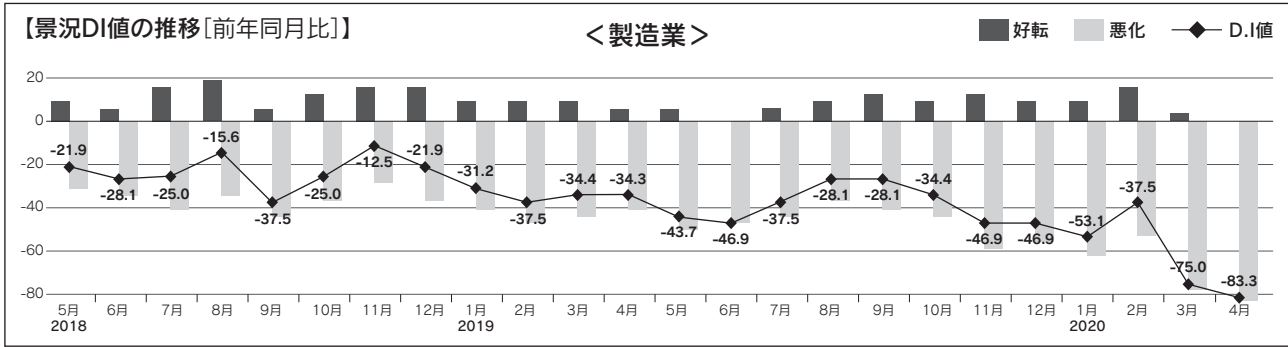
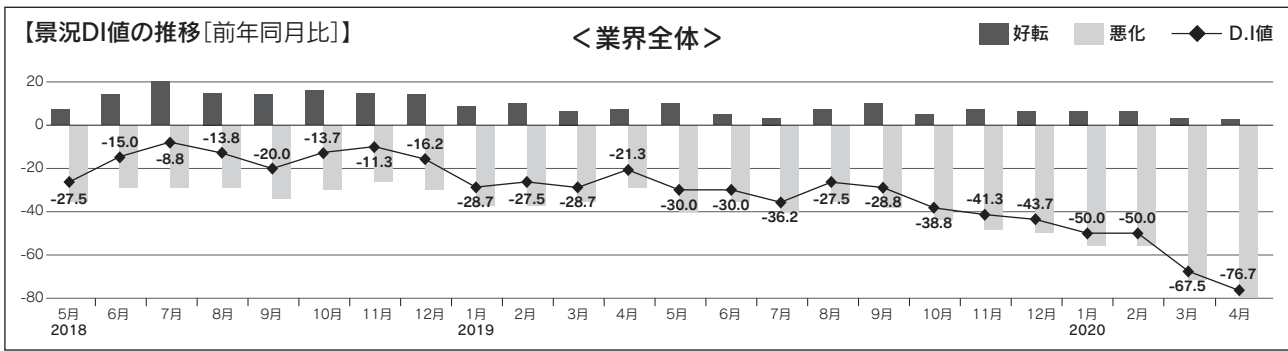
【天気図の見方】  
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

### 【業界の声】 ~製造業~

(回答数：24名 回答率：100%)

食料品 (豆腐)	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学校給食が休止し、さらにホテル・飲食店なども休業となり、売上は30%以上ダウンし、景況は最悪の状況下にある。
食料品 (菓子)	新型コロナウイルス感染拡大防止による営業自粛により、人、物の動きが少なく、特に駅、空港、観光地に納品している業者は深刻な状況である。
繊維工業 (ニット)	緊急事態宣言の発出以降、大消費地の売場が軒並み休業しているため、取引先より減産・生産中止・納期後延ばし等の要請が相次いでいる。各社、マスク生産等しているが、社内用や地域貢献としての生産で経営状況は苦しい。
繊維工業 (繊維)	医療用ユニフォーム製品が多いためか発注数に大幅な落ち込みはない。ただ、指図数の細かい商品が多く、切り替えは手間がかかることから効率が悪く、数量の少ない品番は売上が伸びない。新型コロナウイルス問題では、通常依頼されることのないマスク等の発注があった。
木材・木製品 (一般製材)	新型コロナウイルス感染症の影響で、製品販売量は20%程度減少している。商社・製品市場の営業活動が停止しており、5月は更に受注減が予想されるため、資金繰りは厳しくなるとみている。一方、原木の入荷量は順調で土場が満杯となり受入不能となっている。製品の販売価格は、九州地区・西日本方面から滞留在庫の大量放出で、東日本でも値崩れが起きている。
印刷	新型コロナウイルスにより、営業活動への制約も増え、減益の得意先が多く、一部で特需も発生しているものの多くの企業は売上減少になっている。イベントの中止・延期による受注減も増加し、小規模事業者ほど厳しい状態になっている。今後、組合員も含めて得意先の倒産、廃業が懸念される。
窯業・土石製品 (生コンクリート)	4月の出荷数量は前年同月比90%台である。全県の4割近くを占める県南地区がここ2ヶ月低調に推移しており、落ち込みが顕著となった。中央地区の文化施設、能代山本地区の統合高校及びトンネル工事があるが、今後、新型コロナウイルスの影響から工事の延期も考えられ、各社の経営状況も憂慮される。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	見積物件は極端に減少している。現在は以前受注した物件を稼働しており、新規物件がないことから新型コロナウイルス感染症の影響による受注の低下等、先行きの不安を感じている。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：36名 回答率：100%)

卸売業 (青果)	売上高は前年同月比93.6%で推移した。スーパーマーケット等の量販店は営業自粛の対象となっていないこともあり、量販店顧客への売上に関しては思ったほどの落ち込みはなく、売上増加も見られる。ホテル関係・冠婚葬祭関係・外食産業関係の業務用需要はかなりの落ち込みとなっている。
小売業 (共同店舗)	外出の自粛によって人出が減り、飲食店、宴会場の需要が低下したことから、食材の取引が減少している。
小売業 (花卉)	新型コロナウイルス感染症の影響で、入学式の縮小や中止、外出自粛要請や緊急事態宣言などで需要がかなり落ち込んでいる。卸、仲卸、小売店ともに前年より3割~4割減となっている。
商店街	営業自粛要請に従い、飲食店を主に13店舗休業している。その他の店舗も時短対応で営業し、全ての加盟店に大きな影響が出ている。売上も5割減~9割減と大幅に落としており、今後の経営に与えるダメージは大きい。(大館市)  新型コロナウイルス感染症の影響で客足が減り経営状況は悪化している。休業要請のある業種には支援があるが、休業要請のない業種(理・美容業)には支援もなく店を開店していても来客はない状況である。(横手市)
サービス業 (旅館)	新型コロナウイルス感染症による休業によって、営業活動ができない状況にある。
サービス業 (タクシー)	新型コロナウイルス感染症の影響により、旅館・ホテルをはじめ、飲食店、旅行などのサービス業の経済活動は停滞している。4月前半は50%程度だった落ち込みが「緊急事態宣言」の発令後は、地域によっては70%の落ち込みとなった。
建設業 (建築リフォーム)	新型コロナウイルス感染症の影響から受注しても工事に取り掛かれない。受注については民間からの発注が足踏みしている案件が多い状況にある。
建設業 (電気工事)	新型コロナウイルス感染症の影響で現場立入禁止となり、工期の遅延、資材搬入の遅れ等、多大な影響を受けている。
運輸業 (トラック)	貨物は少ないようだが、食品関係、雑貨関係は順調に動いている。工場関連の製品・資材関係は殆ど動いていない。